

## 令和7年度 第2回 静岡市スポーツ推進審議会 会議概要

- 1 日 時 令和8年1月9日（金）10時00分から12時00分まで
- 2 場 所 静岡庁舎 本館3階 第1委員会室
- 3 出席者 **【委員】**（敬称略）  
木宮 敬信、祝原 豊、田村 元延、加藤 綾子、大島 友佳里、  
伊藤 省吾、内川 久雄、笹本 とよ子、高津 健一、天野 温紀、  
牧田 裕介、森 菜月  
**【事務局】**  
岩田観光交流文化局長  
（スポーツ振興課）  
能口スポーツ振興課長、池田施設担当課長、三矢課長補佐兼企画係  
長、宮川施設第1係長、鷺澤施設第2係長、島田市民スポーツ推進係  
長  
深澤ツーリズム推進係長、栗田ホームタウン推進係長  
鈴木主査、齋藤主任主事  
  
**欠席者** 鈴木 健司、山城 史人、深澤 陽介
- 5 傍聴者 2名
- 6 説明事項 (1) 静岡市スポーツ推進審議会について
- 7 報告事項 (1) スポーツ活動に関する市民意識調査の速報値の報告について  
(2) スポーツ庁「スポーツ・健康まちづくり」優良自治体表彰2025に  
おける長官特別賞（最高賞）の受賞について
- 8 協議事項 (1) 第2期スポーツ推進計画の中間見直しについて

## 9 会議概要

### 司会（三矢）

<開会>

- ・岩田局長より挨拶
- ・委嘱状交付
- ・委員自己紹介
- ・事務局自己紹介
- ・会長・副会長の選出

会長→木宮委員に決定 副会長→祝原委員に決定

- ・配布資料の確認
- ・会議成立（委員半数以上の12名出席により会議成立）
- ・会議の公開について、事前の傍聴希望者：2名 <異議なし>
- ・当日の会議録は、市のホームページに掲載、情報公開する<異議なし>

### 説明事項（1）静岡市スポーツ推進審議会について

#### 【資料1-1, 1-2】

#### 鈴木主査

- ・資料1-1, 2に沿って、委員数、任期、スケジュール等について説明。

<委員からの質問・意見>

特になし。

### 報告事項（1）スポーツ活動に関する市民意識調査の速報値の報告について

#### 【資料2】

#### 齋藤主任主事

資料2に沿って、速報値について以下の点を抜粋して説明。

- ・ p 5. 週1日以上スポーツ実施率は60%であり、目標値には、届かなかったが、上昇傾向である。男性20,30代、女性30,40代（働く世代）が少ない点が課題。
- ・ p 9. 運動・スポーツを行う理由という問いでは、「健康のため」といった理由が多く、前回より10%近くの上昇があり、健康意識の高まりが確認できた。
- ・ p 14. スポーツとウェルビーイングの関係について、10代のウェルビーイングが低い。スポーツの実施がウェルビーイングの向上につながっていない結果となり、スポーツ庁の調査とは差が出た。
- ・ p 15. 週1日以上スポーツを実施したい人の割合は80%近くあった。分析を進めながら実施に結び付けていきたい。

- ・ p 23. 「ささえる活動を行ったことがある人」は、国に比べ、10%程度数値が高い。静岡マラソン、ホームタウンチームなどの影響があると考えられる。
- ・ p 26, 27. 観戦したスポーツ種目は、どのスポーツも右肩上がりであり、視聴媒体の増加等が起因していると考えられる。
- ・ p 28, 29. 直接観戦してみたいスポーツは、SVリーグや、Bリーグのあるバレーボール、バスケットボールの上昇率が高かった。

市内小中学生を対象にした調査について

- ・ p 39. 週1日以上スポーツ実施率は微増（小学生微減, 中学生微増）であった。
- ・ p 40. スポーツが好きという割合に変化はなかったが、スポーツを行う理由として、小中学生であっても、「健康のため」といった理由が5%程度増える結果となった。
- ・ p 41. 参加したいスポーツイベント・教室に、「色々なスポーツが体験できるイベント」と挙げる回答数が、10%ほど高くなった。

<委員からの質問・意見>

木宮会長

新しく委員になった方もいるので、令和3年度（前回調査）の結果もあれば比較ができるのではないかと。

事務局

データをメールで提供する。

木宮会長

令和3年度では、コロナ禍の調査であり、平成30年度（前々回調査）から落ち込んだ結果が戻ってきた感じがあるため、単純な比較は難しいが、国との調査とも比較をしていきたい。

報告事項（2）スポーツ庁「スポーツ・健康まちづくり」優良自治体表彰2025における長官特別賞（最高賞）の受賞について

【資料3】

齋藤主任主事

資料3に沿って説明

<委員からの質問・意見>

加藤委員

・学校として、総合的な学習に活用できる部分が多くある。小学生が福祉について学ぶ機会となるので、教育現場に情報を流していただきたい。

**能口スポーツ振興課長**

本事業を通し、インクルーシブ教育など色々やっていきたい。計画の段階から相談させていただくことがあると思うので、ご協力をお願いしたい。

**牧田委員**

市パラスポーツ協会が設立されたのち、パラスポーツ関係で今後、行いたいことがある際は、県に相談するのか、市に相談するのか、もしくは連携するのか。そういった位置づけの想定はあるのか。

**島田係長**

静岡県は、県内全域を対象にパラスポーツの普及からアスリート支援まで、広くパラスポーツに関する活動を行っている。静岡県は東西に広く、地域それぞれの課題がある。静岡市ではより地域密着で活動をし、市パラスポーツ協会とともに、特にユニバーサルスポーツを通じた共生教育に力を入れていきたい。市としても、様々な事業に関わっていきたく、県とも連携をしていきたい

**内川委員**

今後の計画として、他の地区への展開は考えているのか。

**能口スポーツ振興課長**

庵原地区での成功事例を市全体に広めていく。

**内川委員**

具体的にどういった施設に広めていくかは決まっているか。

**能口スポーツ振興課長**

来年度以降、指定管理施設等で、ユニバーサルスポーツ教室を多く開催するよう取組を進めているため、徐々に変わっていくことを理解いただきたい。

**内川委員**

スポーツ振興課にお願いをすれば指導員の派遣ができるというように考えてよいか。

**能口スポーツ振興課長**

障がい者スポーツに関連した指導員については、協会を設立し、指導者間の連携にも取り組んでいきたい。協会もしくは市の方に連絡をいただければ、そういったことも取り組んでいこうと考えている。

木宮会長

新規の連携といった面で見ると、県内に市町レベルのパラスポーツ協会はあるのか。

島田係長

県内にはなく、初の試みである。20の政令指定都市中、10の政令指定都市でパラスポーツ協会がある。

木宮会長

スポーツ振興課の現有戦力でやるのは、大変ではないか。

能口スポーツ振興課長

市役所だけではできない。設立する協会や民間の企業等、様々な団体を巻き込みながら進めていく。

#### 協議事項（１） 第２期スポーツ推進計画の中間見直しについて

##### 【参考資料４－１～６】

鈴木主査

資料４－１～６, 第２期スポーツ推進計画に沿って、以下の項目について説明

- ・ 静岡市スポーツ推進計画の見直しについて
- ・ スポーツ庁の動向について
- ・ 静岡県の動向について
- ・ 静岡市総合計画の見直しについて

<委員からの質問・意見>

木宮会長

スポーツの変化スピードや、県, 国とリンクする計画であることを考えると、中間の見直しを図っていく必要がある。実質的な検討は3月以降になっていくため、目を通していただきたい。

全体を通して

天野委員

しずおか産業ビジョンの「みる・ささえるスポーツ」の産業化といったところに、興味を強く感じた。

**森委員**

自分の周りにも、バイトを優先し、スポーツから遠ざかる人が多い。そういった人たちをどう巻き込むか考えていきたい。

**木宮会長**

若者世代へのアプローチは考えていかなければならない。若者世代の意見を集めていきたい。

以上

令和7年度 第2回静岡市スポーツ推進審議会の審議内容について、  
上記のとおり相違ありません。

令和8年2月9日

静岡市スポーツ推進審議会 会長 常葉大学教授 木宮 敬信